夕刊 臺灣日日新報 昭和十七年十一月一日 (日曜日) (第二版) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)

簡素化、大東亞省設置
諸勅令あす公布實施
行政の戰時編成化結實

【東京發同盟】行政簡素化、大東亞省設置並に内外地行政一元化に關する諸勅令は愈々一日一齊に公布即日實施されるが、同日公布されるもの國内手續きを著く完了していよ〳〵一日一齊に公布即日實施されるが、同日公布されるもの は勅令九十餘件、閣令二件に及ぶ尨大廣汎なもので六月以來の行政の戰時編成案がここに結實實行に移されまた大東亞建設に卽應して大東亞省も同日を以て開設、大臣以下の陣容を整へて開設、大臣以下の陣容を整へて輝かしく發足することとなつた、かくて大東亞戰爭完遂に卽應し國内戰爭總勢整備の一翼を擔ふ劃期的な行政機構の改革が實現され神速果敢な行政運營が期待されるに至つた

内外地一體の實
外地施政
擧がる外
拓務省發展的解消 拓相談話

【東京發同盟】大東亞省の誕生により從來の拓務省は發展的解消することとなつた拓務省では三十一日同省において最後式を擧行したが式後相は左の如き旨の訓示を與へた

顧みるに拓務省は昭和八年六月十日のことであり、これが設置の當時は一は時局、重要、複雜なる諸般の問題に對處するため、他は從來内地に屬せざる諸般の問題に對處するため、特に内閣の統一ある强力なる機關として發足したものである、この間實に滿洲國の建國、國際聯盟脫退、日滿議定書の調印、滿洲國に對する帝國の指導、支那事變の勃發、日獨伊三國同盟の締結、大東亞戰爭の勃發等、實に我が國運の進展に重大なる關係を有する諸般の重要問題に對處し、或は直接或は間接にこれが解決に當つてはその衝に當つてきたのであるが、顧みれば、この間實に幾多の困難と障碍とを排除し、或は時局の進展に伴ひ、或は國際關係の變化に卽應して、機宜の措置を講じ、或は國内體制の强化に卽應して、その機構の改革を行ひ、或は國内外の輿論の動向に鑑みて、その施策の改善を圖り、以て今日の大東亞戰爭の完遂に對處し、大東亞建設の重責を果すに至つたのであるが、今や大東亞省の誕生により、從來の拓務省の使命は一應完了したものと考へられるのであるが、顧みれば、拓務省の使命は、從來その他

諸地域の 利害關係を調整し、國民生活の安定を期せしめるために必要なる施設、指導、指令を行ふ等の拓務行政の一般的な使命は一層强化されて今後大東亞省の使命として繼承されるものと信ずる

外地施政 の根本については、從來屢々述べられたところであるが、我が國は今次大東亞戰爭の目的を達成するために、大東亞諸地域の安定確保を必要とし、これが爲には、先づ大東亞諸地域の資源を我が戰力增强のために最大限度に動員し、且つ大東亞諸地域の民心を把握して、これを我が戰爭遂行に協力せしめることが必要である、從つて大東亞諸地域の施政は、從來の如く單に統治的觀點に立つのみでは不十分であつて、大東亞諸地域の民心を把握し、その福祉增進に努めることが必要である、從つて大東亞諸地域の施政は、從來の如く單に統治的觀點に立つのみでは不十分であつて、大東亞諸地域の民心を把握し、その福祉增進に努めることが必要である、從つて大東亞諸地域の施政は、從來の如く單に統治的觀點に立つのみでは不十分であつて、大東亞諸地域の民心を把握し、その福祉增進に努めることが必要である

大東亞省 の使命は、實に茲に述べたところの如きものであるが、今次大東亞戰爭の目的を達成するために、大東亞諸地域の安定確保を必要とし、これが爲には、先づ大東亞諸地域の資源を我が戰力增强のために最大限度に動員し、且つ大東亞諸地域の民心を把握して、これを我が戰爭遂行に協力せしめることが必要である、從つて大東亞諸地域の施政は、從來の如く單に統治的觀點に立つのみでは不十分であつて、大東亞諸地域の民心を把握し、その福祉增進に努めることが必要である

拓務省の廢廳式擧行

【東京發同盟】昭和四年以來十四年の間わが國の海外發展に貢獻を行ひんで大きな業績を擧げ來つた拓務省は愈々一日廢止となり午前十時半より同省講堂に於て廢廳式を擧行したが、式には大東亞省次官小原直、拓務次官小磯國昭、拓務省參與官木内曾益、拓務省參與官藤原銀次郎、拓務省參與官松村秀逸、拓務省參與官堀内一雄、拓務省參與官小林躋造、拓務省參與官永井柳太郎、拓務省參與官大野緑一郎、拓務省參與官秋田清、拓務省參與官石黒忠篤、拓務省參與官大谷尊由、拓務省參與官松岡駒吉、拓務省參與官川崎克、拓務省參與官山崎達之輔、拓務省參與官小泉親彦、拓務省參與官小泉又次郎、拓務省參與官小泉親彦、拓務省參與官小泉又次郎、拓務省參與官小泉親彦、拓務省參與官小泉又次郎

大東亞戰役下

初に迎ふ明治節

擧島・御聖徳を欽仰

「國民奉祝の時間」設定

◇官廳、學校、會社、工場、銀行は勿論、其他總ての職場は本日を以て擧國一齊に「國民奉祝の時間」を設定し、大御心を奉戴して大東亞戰完遂に邁進することゝなつた

◇本日は午前十時を期し「國民奉祝の時間」の設定を告ぐるサイレンが一齊に鳴り渡り、全國民は直ちに宮城を遙拜し奉り、次いで大東亞戰に戰歿した將兵の英靈に對し謹んで默禱を捧げることゝなつた

◇その他の會社、工場、學校、官廳等に於ても「國民奉祝の時間」の設定を告ぐるサイレンが鳴り渡れば、それぞれ宮城を遙拜し、次いで大東亞戰に戰歿した將兵の英靈に對し謹んで默禱を捧げることゝなつた

◇本日は午前十時を期し

臺灣日日新報 昭和十七年十一月一日（日曜日） 第一万五千三百二十三號

行政機構の戰時改革具現

大東亞省設置を卷き起す新發足

簡素化、內外地一元化實施

戰力を增強、時艱突破

東條首相、決意を表明

督府關係の機構改革

各課分課、事務分掌發表

總務、滿洲、支那、南方

四事務局等を設置

內務省に管理局新設

外地の事務處理に當る

朝鮮及臺灣の總督

首相・各大臣が監督指示

皇國民錬成の成果

高まる臺灣の地位

齋藤情報部委員長談

陸軍司政長官發令

ぜんそくの苦しみを救へ！
即服で効く！
無管支喘息專門
ひろ（粉薬）
喘息薬
服作の際 一服
服後の際 一服
用法の際
一回二錠 一日四回
食前 食後 毎食後
服後 就寝前
全國薬店に有り

大洋
海の綜合雜誌
海の時局雜誌
文藝春秋社
日獨協同作戰と次の海戰 座談會
アメリカ侮るべからず 平出大佐
米の作戰基地アラスカ——群馬軍一
惱みぬく英國——寺村誠一
訪獨潛水艦々長に寄す 武井中將
中馬大尉 橫山正藏
バリ島夜話 有岡一郎
昭南島新話 伊地知道
マレー沖敗戰記 東印度の回教と結婚風習——吳正一
回教徒民族の式典を觀る——三宮正
南溟に君ケ代をきく——海軍報道部
蔭にある一頁——おと上三
ナルヴィック海戰詩 吟供養——田四一
吳軍港物語——海軍報道部
太平洋南北對談 田中丸祐原 高山御太郎

米英の國民性とその非道を語る
出席者 岩畔豪雄 小林躋造 酒井鎭雄 鈴木一
グンキ
十二月號 賣切近し
この外記事澤山 詳細は廣告頁參照 大日本雄辯會講談社
野人武魂 牧野吉晴
現代小說 男の仕事 市橋一宏
評判の小說 母在せり——小田原 中井良太郎
日本的な娘——現代小說 中西タキノ
兩手兩足を失うて光明あり——小說 清閑寺健
新しい郵便年金の話——小說 堤正威
地球の屋根——小說 大下宇陀兒
全國優良農家の座談會

吉川英治著 新書太閤記
待望の第七卷出來
何が面白いと云つても本卷ほど萬人を熱狂せしめるものは少ない。信長秀吉の二天英雄の人物を直接眼にしかけられる程眞に迫つて描く前人未發の大傑作！
さらに美人妻子もおゆうも武田信玄も上杉謙信も或は光秀、家康など悉く現代の我々と同じ氣息で紙上に躍り出して來る。
第一卷より增刷出來（各冊）
第六卷まで（第七卷に限り臺圓五拾錢 臺圓參拾錢）
日本英雄小說の最高峰！
新潮社 東京 牛込矢來 振替 八〇八

社說

大東亞省の歴史的生誕
本省の協力分野益々好望

一

大東亞省が愈々本日發足致しました。これは大東亞戰爭の完遂に向つて、大東亞共榮圏の建設に向つて、大東亞諸國家諸民族の協力體制を一層緊密ならしめ、その總力を最高度に發揮せしめんとする、大東亞戰爭第二年目の劃期的な施策であります。

大東亞省の設置は、既に昨年十一月大東亞會議の開催が決定された際から、その構想は存在したのでありますが、その後の戰局の發展に伴ひ、大東亞諸國家諸民族との協力關係が愈々緊密となり、大東亞共榮圏の建設が愈々具體的に進展するに至つたことは、今回の大東亞省の設置が、如何に大東亞戰爭の遂行上、大東亞共榮圏の建設上、重要な意義を有するものであるかを如實に示すものであります。

二

從來大東亞關係の事務は、外務省、陸軍省、海軍省、企劃院、興亞院、拓務省、大藏省、商工省、農林省、厚生省、文部省、司法省、鐵道省、逓信省、内務省、情報局等の關係各省に分掌されて居りましたが、大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の建設とを目的とする大東亞省の設置に伴ひ、これら關係各省の大東亞關係事務は、大東亞省に統合されることになりました。

大東亞省の設置に伴ひ、從來關係各省の大東亞關係事務を擔當して居りました官吏は、大東亞省に轉任することになりますが、これら官吏は、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りましたことに鑑み、大東亞省の設置に伴ひ、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りました官吏は、大東亞省に轉任することになりますが、これら官吏は、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りましたことに鑑み、大東亞省の設置に伴ひ、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りました官吏は、大東亞省に轉任することになりますが、これら官吏は、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りましたことに鑑み、大東亞省の設置に伴ひ、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りました官吏は、大東亞省に轉任することになりますが、これら官吏は、從來關係各省に於て大東亞關係事務を擔當して居りましたことに鑑み、

三

ついでに、大東亞省の設置が、大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の建設とを目的として、大東亞諸國家諸民族の協力體制を一層緊密ならしめ、その總力を最高度に發揮せしめんとする、大東亞戰爭第二年目の劃期的な施策であることは、大東亞省の設置が、大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の建設とを目的として、大東亞諸國家諸民族の協力體制を一層緊密ならしめ、その總力を最高度に發揮せしめんとする、大東亞戰爭第二年目の劃期的な施策であることは、大東亞省の設置が、大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の建設とを目的として、大東亞諸國家諸民族の協力體制を一層緊密ならしめ、その總力を最高度に發揮せしめんとする、大東亞戰爭第二年目の劃期的な施策であることは、大東亞省の設置が、大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の建設とを目的として、大東亞諸國家諸民族の協力體制を一層緊密ならしめ、その總力を最高度に發揮せしめんとする、大東亞戰爭第二年目の劃期的な施策であることは、

司法記念日と一般運動
今日は司法省創立記念日である。即ち明治十四年十月一日の布告を以て、司法省が設置されたのである。我が國に於ては古くから大化の改新以來、司法は行政から獨立せしめられ、裁判官は獨立して裁判を行ふ建前になつてゐるが、司法省が設置されたことは、司法權の獨立を一層確實ならしめるものであつて、我が國の司法制度の發展上、誠に意義深いものがある。

行政機構の刷新改革
四局制を採用す
外務省新事態に即應
商工省の官制改正の主要點
海軍官階、職階改正
愈よけふから實施
海軍服制も改正

大東亞經濟懇談會
臺灣委員會の發言事項

經濟會議所案檢討
臺北商議所役員會開催

大東亞省開廳式
大臣の親任式後擧行

外局は廃止
文部省新機構

資材部を廃止す
農林省の機構改革

各省改革の全貌

司法省の改正

官名を統一
逓信省の改革

官廳職員待遇改善
勅令、閣令けふ公布實施

本年度麥類實收高
一千三百四十八萬四千石

大東亞經濟懇談會
臺灣委員會の發言事項

總務局簡易保險局を新設
逓信省

厚生省簡素化

企劃院の改革

日本經濟戰略論・土居清
生産力時代と生産體制・松前重義
産業統制會の前進・靜田均
戰時生活と生産の組織化・菱山辰一
財界産業人の戰爭認識・迫水久常

特輯 不敗生産戰力への推進
☆人形師宇野鹿藏
☆吉久天野見尾狗千泉也屋代石傳
☆日本近代兵學の形成・小山弘健
☆兵役の東西・平櫛孝
☆ジュットランド海戰・伊藤正德
☆豐穣の啓示・櫻井武雄
☆清掃工作踏査報告・石濱知行

中央公論 十一月号
定價・壹圓

對支文化の實踐方途
上海座談會
出席者 岡崎嘉平 小林辻男 小武竹内義文 宮久太吉 時彦 平幸夫一

創作 海戰
（三百枚）丸山薫

（短歌）秋のくもり
高田浪吉

創意と組織・佐藤信衛
創意と生産・相川春喜
創意と世代・河野道彦
創意の場・創意を生かすもの・菅井準一

海軍官階、職階改正
愈よけふから實施

海軍服制も改正

興同理事長の山岡氏辭任
後任に吉田氏

臺北州木炭業者
配給組合を組成

セレベス事情
あす講演會

株式 商況（十一日）
證券取引所
證株概況
下押し

皇太子様 神宮競技場台臨
長谷川總督 海軍記念日講演
第四十五期決算公告
第四十七回決算公告
第八期營業報告
株式 村岡證券 北京市 電話 四六〇五 四六〇二 番
申込證拠金
十一月一日 十一月一日 十一月一日 十一月一日
明治火災海上保険株式會社 臺北出張所
日本經濟戰略論・土居清
生産力時代と生産體制・松前重義
産業統制會の前進・靜田均
戰時生活と生産の組織化・菱山辰一
財界産業人の戰爭認識・迫水久常
中央公論 十一月号 定價・壹圓
特輯 不敗生産戰力への推進
☆人形師宇野鹿藏 ☆吉久天野見尾狗千泉也屋代石傳
☆日本近代兵學の形成・小山弘健
☆兵役の東西・平櫛孝
☆ジュットランド海戰・伊藤正德
☆豐穣の啓示・櫻井武雄
☆清掃工作踏査報告・石濱知行
創作 海戰（三百枚）丸山薫
（短歌）秋のくもり 高田浪吉
對支文化の實踐方途 上海座談會
出席者 岡崎嘉平 小林辻男 小武竹内義文 宮久太吉 時彦 平幸夫一
創意と組織・佐藤信衛
創意と生産・相川春喜
創意と世代・河野道彦
創意の場・創意を生かすもの・菅井準一
マスタークリーム
化粧下・蚊ソリ後に！
リプッタを養素に
ドイツ特許皮膚栄養剤ラセラン、の効果で生肌からピチ〜弾力づきます
資生堂 公定販売価
療養期間の短縮
結核に最適
肝油に劣らぬビタミンADの外肝臓實質特有の各種榮養素を透徹に補給する……
唯一の全肝型AD複エーデー性物質に對する抵抗力を増強し、結核菌毒素を殺滅し病巣を防ぎ發育を促進し而も服みよく胃腸を傷めず
農林省 水產試驗場創製
製造発売 水產化學工業株式會社
助榮養 体力 腺病質

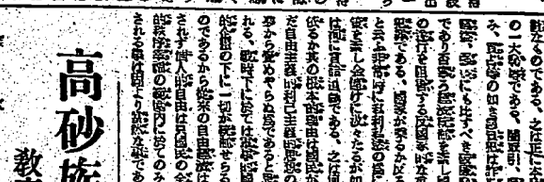
産業人團體相撲に
遠來の北支軍優勝
明治神宮國民錬成大會

皇太子殿下　神宮競技場台臨　御後は三笠宮殿下

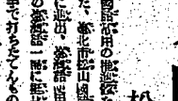
經濟事犯の絶滅へ
闇一掃運動を展開
一齊に遵法週間

高砂族社衆に福音
教育所制、ツヅラフヂ問題解決
高砂族教育所強化
來年度、學年延長經費を要求

福岡海軍中佐轉出
"臺灣一家"に別れを惜む



銃後治安の戰士たれ
司法記念日に當リ　中村高等法院檢察官長談



バス内の臺灣語一掃
松山國語常用挺身隊員奉仕

獨潛艦大西洋に猛威
十月中六十七萬九千餘噸擊沈

玉吟ツヅラフヂ
近く製劑工業化

長谷川總督
法院會記講習會
員を激勵訓示

米國の軍事的謀略
皇軍の戰果に醉はず
全國民謀略戰に備へよ

大東亞戰爭の大なる成果と我が十ケ月、大陸戰線の一大飛躍的前進を見て米國は正に天下無敵の武威をかに示した、この事實は米國民をして驚天動地なる衝撃と絶大なる大恐慌とを與へたるも、一方敗北を續けた米英は過去數十年に亙る自國の大東亞侵略政策の破綻を糊塗するため、ルーズヴェルト政權にあるこの儘り戰力を以てしては到底日本を打ち破ることは出來ないと言ふ事實を國民に知らせまいとするの狡猾なる策謀にある、だから日本國民は米國の宣傳に決して迷はされてはならない、米國の狙ひは日本國民の戰意を喪失せしめ、日本の戰爭指導者と國民との間に離間を策し、日本國民の戰意を喪失せしめ、日本國民の戰意を喪失せしめ、日本國民の戰意を喪失せしめ